

社協 ほどがや

No. 50

【発行】

社会福祉法人 横浜市保土ヶ谷区社会福祉協議会 会長 畑尻 明

〒240-0001 横浜市保土ヶ谷区川辺町5-11 かるがも3階 TEL:341-9876 FAX:334-5805
ホームページ: <http://www.shakyohodogaya.jp/> Eメール: h@shakyohodogaya.jp

第50号発行

おかげさまで、社協ほどがやは第50号発行を迎えました。
これからも地域の活動や情報を発信していきます！

社協を知って頂くためのPR動画！

是非 ご覧ください 社協ってなに？

保土ヶ谷区社協職員の手作りの動画です。



保土ヶ谷区には22の地区社会福祉協議会(地区社協)があり、
「つながり支えあい 安心していきいきと暮らせるまち ほどがや」
をめざしてさまざまな活動や取組を進めています。
その中から4地区の活動を紹介します。

ホームページ

上新地区の魅力を 知ってもらいたい



ホームページは
こちらから

上新地区社協では、以前保土ヶ谷区生涯学級でまとめた『新井の魅力発見～私達のまち・歴史探訪』の内容をベースに、上新地区の魅力を掲載したホームページを作成しました。
「現在は町内の旧跡等を紹介していますが、今後は現在作製中のマップづくり(※)に合わせて得た情報をもとに、地区の楽しい情報、良い情報を載せていきたい。地区社協活動のスケジュールも入れられるようにしたい」と担当の高森さんは張り切っています。地区社協の金子会長も「若い人達が担ってくれるので頼もしい。今後もどんどん情報発信していきたい」と笑顔で話してくれました。



みんなでマップづくり

※マップづくり

①地域の魅力発見 ②防災意識の向上 ③地域の見守りを目的とした『新井町マップ』も作製中です。

ホットな写真コンテスト

離れていても“つながり続ける”ために

川島東部地区社協では、人と人とのあたたかなつながりや支えあいをテーマに、離れていてもつながり続けるための取組を行ってきました。令和3年度は川島東部地区の魅力幅広く紹介することを目的に、地域の『ホットな写真コンテスト』を実施しました。過去のものを含めたホットな写真が22点集まり、ほっとなまちづくり懇談会で7点の入賞作品が選ばれました。
地域の人や風景、出来事に想いを馳せることで、会えなくても地域の良さやつながりを感じることができる・・・そんな写真コンテストになりました。



川島東部地区社協会長賞(最優秀賞)

令和4年度は日々の暮らしの中で気づいたホットな出来事や想いを伝える『ほのほの川柳コンテスト』を実施し、いきいき暮らす川島東部地区の魅力を広く紹介していきます。



選考の様子

ハマロード・サポーター

清掃活動を通じた地域の見守り

保土ヶ谷中地区社協では、長年にわたり『ハマロード・サポーター』活動を続けています。この活動は道路清掃による環境美化活動であると同時に、挨拶や声掛けを通して近隣住民同士のつながりづくりや、子どもたちの見守り活動にもなっています。

活動を続けている方からは、「ハマロード・サポーターに参加する地域も徐々に広がり、たばこの吸殻やゴミのポイ捨てなども減ってきた」「街をきれいにしている大人の姿を子どもが目にする事で、子どもにも良い効果がある」との声があがっています。

今年は、同じ地域の『水辺愛護会』でも今井川の清掃を実施し、鮭を放流するなど、コロナ禍であっても地域ぐるみの交流やふれあいを大切にしています。



活動中のサポーターの方々

ワクワクいわい健康マップ

ウォーキングで 楽しく健康づくり!

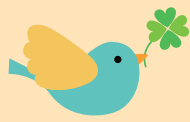
岩井町原地区社協では、第二町内会を中心に、地域を楽しく歩けるマップの作製に取り組みました。

きっかけは、コロナ禍で外出の機会が減り、運動不足による体力の衰えや、若い世代で健康を害する人が増えてきたためです。保健活動推進員やシニアクラブ和光会と共に話し合いを重ね、また岩崎地域ケアプラザや保土ヶ谷区社協も協力して、『ワクワクいわい健康マップ』が完成しました。



ウォーキングイベントの1コマ

マップには、いつでも好きな時に気軽に歩けるよう3つのコースが載っています。多くの人にマップを知ってもらおうと、5月29日にはウォーキングイベントを開催し60名近い参加がありました。今後、全ての世代に利用してもらえよう広めていく予定です。



保土ヶ谷区社協の事業紹介



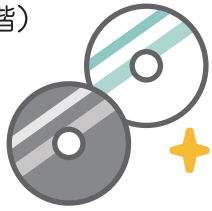
保土ヶ谷区ボランティアセンターから

『音訳ボランティア入門講座』受講者募集

音訳ボランティアとは、本や雑誌等を読んだ音声を録音しCDにして視覚に障がいがある方に届けるボランティアです。

入門講座では、保土ヶ谷録音グループ『はし』の協力のもと、基本的な音訳技術を学びます。

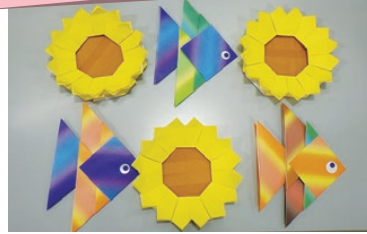
- 日程** 11/10 から 12/1 までの毎週木曜 10時から12時 (全4回)
- 会場** 保土ヶ谷区福祉保健活動拠点 (かるかも3階)
- 募集人数** 10名 (応募多数の場合は抽選)
- 費用** 1,000円 (テキスト代等)
- 募集締切** 10/21(金)
- 問合せ・申込み** 保土ヶ谷区ボランティアセンター
TEL: 332-2412 FAX: 334-5805



※「講座名」、「氏名」、「連絡先(電話番号、FAX、メールアドレス)」、「年代」を記載して、FAXまたは二次元バーコードでお申し込みください。
※新型コロナウイルス感染状況により、人数制限をする場合があります。



コロナ禍でもできるボランティア



心を込めた季節飾りをお届けしました

社協ほ도가や49号で紹介した『季節かざりサークル』は、制作した季節飾りを高齢者施設や保育園等に届けています。

今回は夏に向けて、ひまわり等心が込もった、素敵な作品がたくさん出来上がりました。

施設から ありがとうのメッセージ

なかなか外出することが難しい状況なので、室内で季節を感じることができて、感謝しています。(高齢者施設)



『季節かざりサークル』の皆さん

善意銀行へご寄付をお願いします!

皆様の温かいお気持ちを お預かりいたします

皆様からお預かりした金銭の寄付は保土ヶ谷区ふれあい助成金の原資の一部など、保土ヶ谷区内の地域福祉活動に役立てられています。

ご寄付はこちらへ

- 銀行振込** 横浜銀行 和田町支店(普通) 0342527
社会福祉法人 横浜市保土ヶ谷区社会福祉協議会 善意銀行
- 区社協窓口** 平日9:00~17:00

※寄付金は所得税や法人税の優遇措置が受けられます。



お知らせコーナー

障害者週間キャンペーンのお知らせ

12月3日から9日までは『障害者週間』です。保土ヶ谷区では障がいがある方への理解を深めて頂けるように『障害者週間キャンペーン』を実施し、啓発物品を配布しています。

今年も12月上旬に予定しています。



昨年のキャンペーンの様子

保土ヶ谷区ふれあい助成金

保土ヶ谷区ふれあい助成金は『赤い羽根共同募金』や『善意銀行』、『区社協賛助会費』等の寄付金を財源に実施しています。

令和4年度はふれあいサロンや子育てサロン、こども食堂、ボランティアグループや障がい当事者団体等156団体へ総額12,150,000円を助成しました。

今年度、複合施設『かるかも』は20周年を迎えます

20年間ありがとうございます。今後も末永くよろしくお預かりいたします。

日本赤十字社会費へのご協力 ありがとうございました



自治会町内会を通じてお預かりしました会費は日本赤十字社神奈川県支部を通じて『いのちと健康・尊厳を守る活動』に活用されています。今後もみなさまの温かいご支援をお願いいたします。

令和3年度日本赤十字社会費実績額 11,185,934円

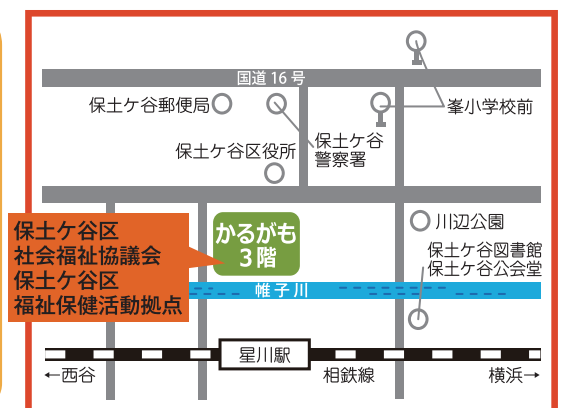
保土ヶ谷区社会福祉協議会 令和3年度事業報告・令和4年度事業計画

こちらから



編集後記

創刊から約25年、50号です。これまで変化する社会背景の中で工夫しながら活動している地域の姿や社協事業の取組をお伝えしてきましたが、今回もコロナ禍での地域パワーを掲載することができました。今後も紙面が活動との出会い、つながりの一助になれば幸いです。
(副編集委員長 中村好美)



*この広報紙は共同募金配分金を活用して発行しています。
*保土ヶ谷録音グループ『はし』のご協力でデイジー版を作成しています。ご希望の方は保土ヶ谷区社会福祉協議会へご連絡ください。

【編集委員】根本和治(委員長)・中村好美(副委員長)・李尾奈王子 齊藤誠・菅沼久美子・播口輝二・島田直樹・大久保節子



食支援

あったかほ도가や寄付

昨年度区民の皆様にご協力頂いた『あったかほ도가や寄付』を活用し、今年も7月に横浜国大生161名や子どものいる家庭30世帯に食支援を行いました。

横浜国大生への食支援では、大学のある常盤台地区の自治会や地区社協、民生委員の皆様にご準備から配付までご協力頂きました。

学生からは、「地域の方とお話しできてあったかい気持ちになった」「まだまだ生活が苦しい」などの声がありました。

※あったかほ도가や寄付: コロナ禍で収入が減るなど生活に困っている学生や子どものいる家庭への食支援に限定した寄付募集



横浜国大での当日の様子



受け取った横浜国大生の皆さん



常盤台地区の皆さん

つながりをたやさない社会づくり ～赤い羽根共同募金～

今年も10月1日から赤い羽根共同募金運動が始まります。赤い羽根共同募金はふれあい助成金や地区社協の活動費、福祉施設の施設整備費、災害被災者支援活動等に活用されます。

皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

令和3年度共同募金実績額 15,763,255円

